

「オンライン研修の実態に関するアンケート」 調査実施報告

日本を代表する大手企業の人材・組織開発を行う株式会社セルム(本社:東京都渋谷区、代表:加島 禎二、以下セルム)は、2021年4月12日~4月25日に、セルムのパートナーコンサルタントを対象に「オンライン研修の実態に関するアンケート」を行いました。

従前、セルムが提供する全ての研修サービスは対面・集合で提供されていましたが、コロナ禍以降、三密を回避し、コロナの感染状況に影響されにくいサービス提供を図るため、迅速にオンライン化が推進されました。現在はサービスの8割以上をオンラインで提供しています。

今回の調査では、オンラインで研修を実施しているセルムのパートナーコンサルタントの方々に、オンライン化による影響や、課題、工夫等について伺いました。

セルムは、集合・対面で得られる効果とオンライン研修の利点の両方を活かし、ベスト・ミックスを目指すハイブリッドな研修のデザインに取り組んでおり、今回の調査結果も踏まえ、より最適な研修の実施方法のあり方を追求してまいります。

1. 調査概要

調査名称:「オンライン研修の実態に関するアンケート」

調査期間:2021年4月12日(月)~4月25日(金)

調査方法:セルムのサーベイスシステムを通じて、オンラインにて配信・回収

調査対象:セルムのパートナーコンサルタント

有効回答数:107件

2. 調査結果ハイライト

■オフライン研修からオンライン研修へ移行したことによる変化

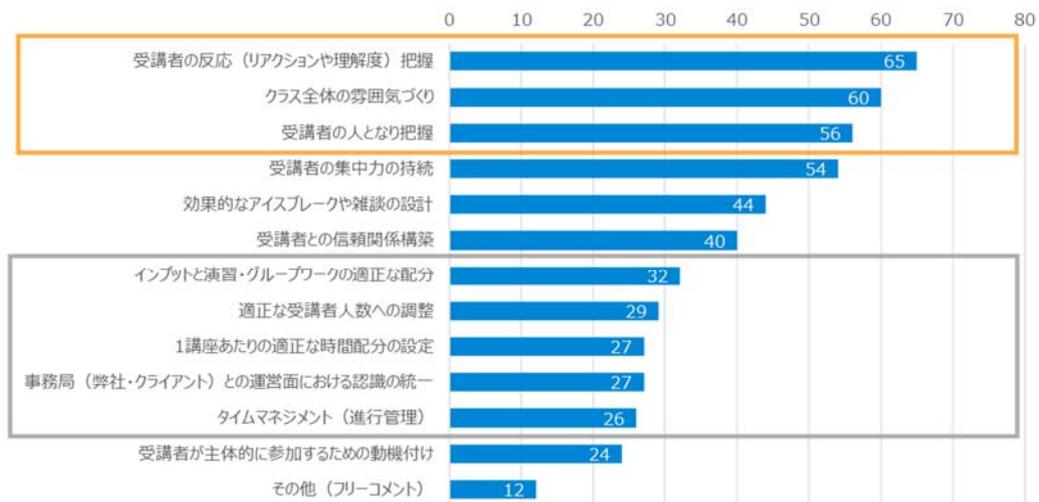
- 良い影響:場所・時間の制約からの解放/受講者からの発言・質問のハードル低下/アウトプットの見える化がしやすい
- 悪い影響:受講者の理解度・反応把握が困難/通信環境の影響を受けやすい/環境の影響があり集中力持続が困難
- その他:雰囲気のカジュアル化が重要/ディスカッションが単一化しない様に工夫が必要/事前設計および準備が重要

■会議システム・補助ツールの利用

- ブレイクアウト機能・チャット機能等の利便性が高い Zoom が圧倒的に支持されている
- ホワイトボードツールや共同編集ツール等を活用するケースはまだ少数にとどまる

■オンライン研修で特に工夫を要する点

- 受講者一人ひとりへの理解と関与: 受講者の人となりを把握できる情報を取得した上で、双方向なやり取りの頻度を高めることで個々の理解度を把握する
- 受講者同士の関係構築: 連続日程の開催の場合、極力受講者同士や受講者と講師の関係構築を行い、一人ひとりへの対応を行うことを意図する
- 運営サポート: 講師は講義・ファシリテーションに専念できるよう、当日、技術的なサポートと、目の行き届かない範囲をカバーするサポートが期待される



（オンライン研修を実施する上で、難しいと感じている点）

【会社概要】

株式会社セルム (<https://www.celm.co.jp/>)
 東京都渋谷区恵比寿 1-19-19 恵比寿ビジネスタワー7F
 代表取締役社長 加島 禎二

【事業内容】

大手企業の経営人材開発を支援するトップ企業。日本を代表する企業の人材開発支援で圧倒的な実績を誇る。育成指導者として、企業経営並びにコンサルティングファームでの経験を有する一流のプロフェッショナルを約1,300名のネットワーク・プラットフォームから起用。経営的な視点で顧客企業と共に本質的な課題を設定し、事業進化、イノベーション、経営高度化のための基盤となる人材開発・組織開発を長期的に支援。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社セルム (<https://www.celm.co.jp/>) TEL: 03-3440-0015 FAX: 03-3440-0013 担当: 内田